宇都宮市の姉妹文化友好都市シリーズⅤ

イタリア

ピエトラサンタ市

宇都宮市の姉妹都市として5番目に提携したのは，イタリアのピエトラサンタ市です。1995年に宇都宮市議会本会議場に於いてピエトラサンタ市のマンリコ・ニコライ市長と宇都宮市の増山道保市長等関係者が出席して調印式が行われ、両市長が提携調印書に署名して文化友好都市として誕生しました。

NPO法人宇都宮市国際交流協会
Utsunomiya City International Association

ピエトラサンタ市と文化友好都市になるまで

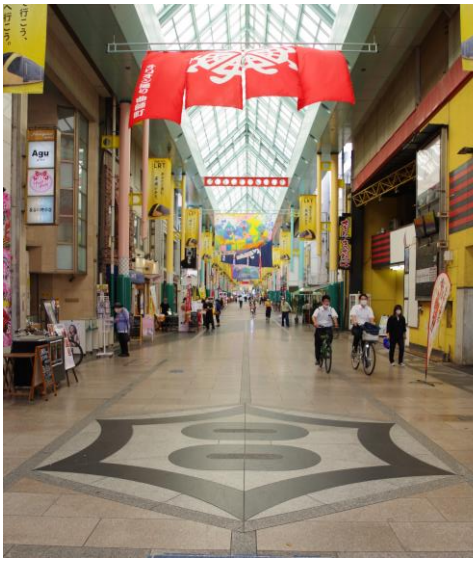
1995年8月3日、
ピエトラサンタ市と文化友好都市を提携しました！

ピエトラサンタ市との提携に至るきっかけは、偶然の善意の出来事から、はじまりました。

1993年11月、宇都宮市職員の星野克美主任が、市の長期海外研修で英仏独の環境行政の視察中、フランス・シャルル・ドゴール空港で、たまたま、途方に暮れている日本の中年女性から声を掛けられ、同胞のよしみで、二人を予定のホテルまで送り届けたところ、この女性の義理の弟が、ピエトラサンタ市在住の彫刻家武藤順九さんだったのです。

その後、武藤さんが帰国し、その時のお礼にと宇都宮市役所を訪れ、この時、案内した大谷の地下空間を観て、大谷石を素晴らしいと評価し、大理石の街ピエトラサンタ市を紹介したことが、その後の交流の始まりでした。

これを受けて、大谷石材協同組合の皆さんが、今度はピエトラサンタ市を視察し、折から市制100周年記念事業としての建設中の市美術館で彫刻展の開催などが検討されていたこともあり、大理石と大谷石、石の街同志での交流が模索され、両市の交流は、まず大理石と大谷石による交流が最初でした。



オリオン通りの大理石敷石

ピエトラサンタ市のあらまし

概　要

ピエトラサンタ市は、イタリアの北東部、トスカーナ州ルッカ県西部のヴェルシルア地方で、ティレニア海沿岸部に位置するコムーネ｛基礎自治体｝です。

日本でもよく知られているピサの斜塔のある街ピサから北に32kmのところで、歴史は15世紀のローマ時代に遡る城塞都市で、今でも、その城壁の一部が残されています。

また、真っ白な大理石を産出する大理石の街として知られ、ミケランジェロが、その美しさに魅せられ多くの作品を残していることでも有名です。新しいところでは東京都庁にも、ピエトラの大理石が多く使われていることでも、よく知られているところです。

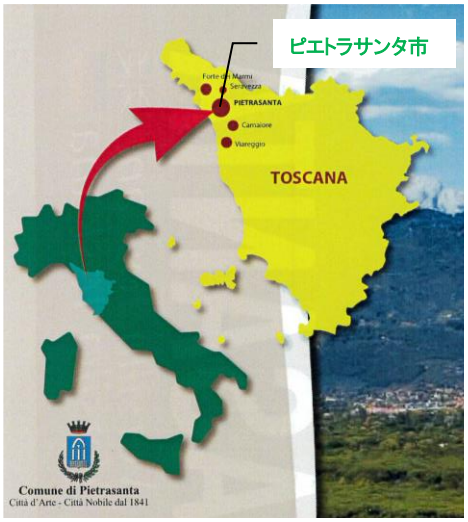
夏には、ティレニア海に接した一大リゾート地としてイタリア各地から多くの観光客が訪れ大変なにぎわいを見せています。

また、2月3日にはイタリア三大カーニバルの一つ、1873年から行われている、政治家や芸能人などの有名人を風刺した巨大な紙人形を乗せた山車がパレードする「ヴィアレッジョのカーニバル」が開催されることでも知られているところです。

市長の任期は3年で、最大10年までとされています。

現在の市長は、昨年当選した、アルベルト・ステファーノ・ジョヴァネッティさんです。

姉妹都市交流に積極的であり、宇都宮以外の姉妹都市とも、青少年の相互交流や若い芸術家の育成などに意欲を持つ市長だと言われていますので、本市との青少年を中心にした相互交流を、実現したいと協議を進めているところです。



ピエトラサンタ豆知識

人　口	23，666人 （2018，3，31現在）
人口密度	580人/k㎡
面　積	41，84k㎡
緯　度	北緯　43度58分
経　度	東経　10度14分
気　候	海洋性気候
公用語	イタリア語
通　貨	ユーロ
海　抜	14メートル

姉妹都市

1　エコシンヌ市（ベルギー）
2　グレンザッハ市（ドイツ）
3　ヴィルパリジ市（パリの郊外）（フランス）
4　ズダンスカ市（ポーランド）
5　モンゴメリー市（アメリカ　アラバマ州）
6　宇都宮市　（日本）

ピエトラサンタ市庁舎

歴　史

トスカーナ大公レオポルド2世像

ピエトラサンタ市の創設は、1255年、当時ルッカを抑えていたミラノの貴族グイスカルド・ダ・ピエトラサンタによる。ルッカはフリードリッヒ2世の死によって起きた混乱に乗じてペルシリア地方一帯に勢力を伸ばしていたのだった。グイスカルドは、ピエトラサンタに自分の家名と紋章を与え、ピエトラサンタ市民にルッカと同じ権利と特権を与えた。

ピエトラサンタ市は道路が直角に交わる極めて規則的な構図を持っているが、これはトスカーナ州の都市計画の初期の例を示すものである。

この町は、戦略的位置とモトローネ港への近さから当初から重要性を持っていた。ルッカ州の法規集の1308年に最初に登場するピエトラサンタ市は、その後も長い間重要性故に、ピサ・ジェノバ・フィレンツェそしてフランスの争奪の的となった。長い闘いの後1513年メディチ家出身のレオ10世の調停により、ペルシア地方の多くの小都市と共にピエトラサンタ市もフィレンツェの支配下に入り、その後イタリア統一まで3世紀半の間、その地位にとどまることとなる。

その間にも、独自の地方官職の設置により政治・経済的統一を成し遂げたピエトラサンタは発展を遂げた。

途絶えていた大理石や他の鉱物の生産が再開され、土地の開拓が行われ、かなり大規模な土木工事もなされた。1841年にはトスカーナ大公レオポルド2世が、その古い歴史や建物の美しさと共に経済的重要性を考慮してピエトラサンタを「貴族都市」の仲間に入れている。

（　ピエトラサンタ市が作成したパンフ「　ピエトラサンタ　その歴史と周辺　」から転載しました。）

周辺の環境

ピエトラサンタ市は、国道「アウレリア」と高速道路E1の出口ペルシリア、そして国鉄ピエトラサンタ駅と交通の便がよく、ピサのガリレオ・ガルレイ空港にも車で15分とアクセスにも恵まれています。

また演劇・コンサート・絵画や彫刻の展覧会、各種の会議が、頻繁に開催される芸術・文化の中心地であり、この古都に有名な大理石を求めて、世界各国から芸術家が集まる彫刻のメッカと知られています。

ピエトラサンタ市の古い街並みを歩いていると、今でもこの地でフィレンツェの聖ロレンツオ協会のファサードに使用する大理石を買い求めた、かのミケランジェロの魂に出会うかのような気分に浸ることが出来るような感じがします。

ピエトラサンタ市では多くの文化人を輩出していますが、内燃機関を発明したエウジノオ・パルサンティ（1821～1864）の名を挙げることが出来ます。

また、日本人彫刻家安田侃の作品〈夢〉が駅前に設置されています。

他に文化施設として聖アゴッスティーノ教会に隣接する市立図書館や古文書館や考古学博物館、芸術家の秀作を集めた美術館などが知られています。

ドウォーモとミケランジェロの設計と言われる鐘楼

トスカーナ海岸

経済・産業

ピエトラサンタの産業の中心は大理石と観光と言えましょう。

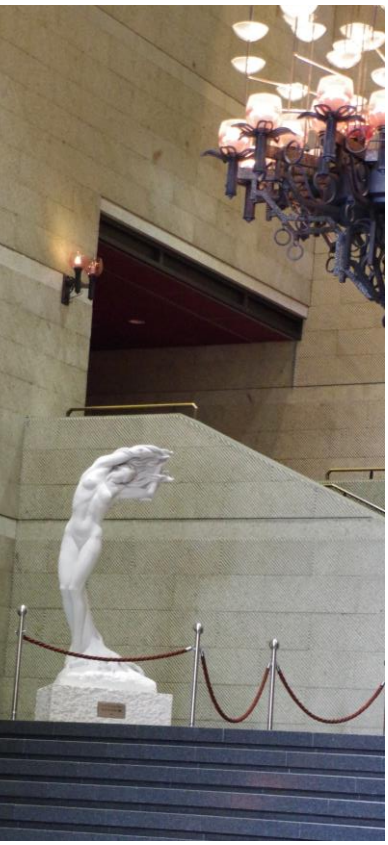
アペニン・アルプスのふもとに位置し、世界的に有名な大理石層を有し、芸術・産業分野で利用される大理石の重要な産地としていられています。

そして1843年、芸術アカデミー「スタジオ・スタジ」など専門的訓練を受けた大理石職人が多く働いており、市の中心街には、今でも昔かたぎの職人の工房がそこかしこにあり、観光客の目を楽しませてくれています。

ピエトラサンタ市街のにぎわい

ピエトラサンタ市との交流

大理石と大谷石の交流



文化会館ロビーに飾られた
ラ・テンペスタ像「嵐」

1　オリオン通りに、大理石と大谷石をコラボした敷石敷設の決定

1994（平成6）年、最初に行われたのは、市内のオリオン通りの敷石に、市と商店街がまとめたピエトラサンタからの大理石と大谷石を組み合わせる案を宇都宮市と大谷石材協同組合が、ピエトラサンタ市の大理石組合との協議を進めた結果、全長200㎡に及ぶデザインを決定し、道路が、そのままキャンパスになった感じの両市の市章とオリオン通りの由来となったオリオン座をモチーフにしたデザインが埋め込まれた案が決定され、1995年に、新しいオリオン通りが、完成したのでした。

この新装なったオリオン通りの開通式には、ニコライ・ピエトラサンタ市長が出席し、この敷石敷設が契機となって、友好都市としての機運が、さらに盛り上がり友好都市の提携へと発展したのでした。

2「　ラ・テンペスタ　」像の設置

友好都市ピエトラサンタ市から、宇都宮市制100周年を記念して、レオーネ・トマン作の大理石像「ラ・テンペスタ「嵐」」が、ピエトラサンタ市とピエトラサンタ大理石組合（コスマベ）、及び、その職人の皆さんから友情の証として贈呈されました。

宇都宮市としては、宇都宮市文化会館の1階のグランドホールに設置し、1997（平成9）年11月16日に除幕式を行い、その後、一般にも常設公開されています。このことは、ピエトラサンタ市でも、友好都市交流のシンボルとして、マスコミも大きく報じられたとのことです。

3　大理石のオブジェ20体の受け入れと展示

ラ・テンペスタと併せて、ピエトラサンタ市とコスマベの職人の皆さんから贈られたもの。

市としては、1999(平成11)年、新しく造成された住宅団地から市美術館へ通ずる美術館通りの両側側面に、このオブジェをランダムに配置し、通行する多くの市民の皆さんに楽しまれています。

4 ピエトラサンタ市での日本庭園の建設

2005（平成17）年、ピエトラサンタ市で、市制施行750周年の記念事業として、市内の公園の中央に宇都宮の大谷石とピエトラサンタ市の大理石をコラボしたモニュメントを設置し、「日本庭園」として宇都宮市との友好都市の象徴として広く公開されています。

オリオン通りの大理石敷設と呼応するものとして設置されたのでしょう。

日本庭園の前で説明するピエトラサンタ市長

市民訪問団の受け入れと派遣

1 1995(平成7)年8月1日～7日 文化友好都市提携調印団の受け入れ

ピエトラサンタ市マンリコ・ニコライ市長ほか5名の訪問団が来宇し、8月3日、市議会本会議場で行われた調印式に出席すると共に、8月5日、増山宇都宮市長をはじめ市議会議員や、商工会議所の関係者等の皆さんが参加して東武ホテルグランデで盛大な歓迎会が開催され交流を深めました。なお、両市の関係については、都市の規模も違うこともあり、大理石と大谷石の文化を懸け橋としての交流と言うことから、姉妹都市でなく「文化友好都市」として提携することとなったのでした。

2 1996（平成8）年5月 「宇都宮姉妹都市サミット」へのニコライ市長が出席

友好都市提携後、最初の交流事業としては、前述のオリオン通りの敷石開通式のため、ピエトラサンタ市のニコライ市長ほか6名が来宇し、市民との交流を深めたことと言えるでしょう。この時、図らずも、宇都宮市では，市制100周年記念事業の一環として、「21世紀の友好交流の在り方を考える“宇都宮姉妹都市サミット」”（ 宇都宮市長をはじめ姉妹友好都市5市の市長が一堂に会した会議 ）が開催され、ニコライ市長も出席して「両市は、石という共通点を持っているが、大理石に比べて、大谷石の世界での認知度は低い。これから、石を通じて友好を深めるとともに、大谷石が世界に広がる手助けが出来れば」と発言し、今後も交流を深めて行きたいと文化友好都市としての交流のスタートとなったのでした。

3 宇都宮市ピエトラサンタ協会の設立と第1回宇都宮市民訪問団の派遣実施

1995(平成8)年12月17日、宇都宮市ピエトラサンタ協会の設立総会が、市役所大会議室で開催され、初代会長に鎌倉三郎(宇都宮市議)が就任、最初の事業として、翌年1996(平成9)年2月13日(木)～20日(木)まで、第1回宇都宮市民訪問団（団長鎌倉三郎）の派遣が決定されました。

募集人員70名、ミラノからピエトラサンタ市を訪問、市長表敬と、「ヴィアレッジョのカーニバル」参加、そして、フィレンツェ・ローマ・ナポリ・ポンペイ等を巡る観光旅行。経費は約25万円でした。

4 第2回宇都宮市民訪問団の派遣

1998(平成10)年11月15日～22日、団員は41名(団長(細谷美夫事務局長)、ピエトラサンタ市公式訪問(4泊)の後、ルッカやナポレオンゆかりのエルベ島・フィレンツェ・ローマを観光、経費は28万円でした。

5　身体障害者福祉会連合会による市民訪問団の派遣

1999(平成11)年5月、宇都宮身体障害者福祉会連合会の一行が、ピエトラサンタ市を訪問、市長表敬の他、市内の障碍者福祉施設等を視察し交流を深めました。

6　宇都宮市議会議員によるピエトラサンタ訪問団の派遣

1999(平成11)年11月、宇都宮市議会代表団(団長小林睦男)6名が、ピエトラサンタ市を訪問、市長表敬の他、市内の視察を行った。

7　福田富一宇都宮市長・小野里市議会議長及び市議会議員9名(団長岡本冶房)が、ピエトラサンタ市を訪問

2003(平成15)年10月、マレーニ市長表敬の他、今後の交流の在り方について協議した他、幼児教育施策について視察した。

8　ピエトラサンタ協会主催の第3回市民訪問団(団長細谷美夫)の派遣。

2003(平成15)年10月、上記メンバーと共に、市民レベルで、市内の施設等の見学と歓迎会に出席し、市民同志の交流を深めた。

9　ピエトラサンタ市長がジャパンカップサイクルロードレース開会式に出席

2003(平成15)年10月、宇都宮市の大谷地区で開催したジャパンカップサイクルロードレースに、マレーニ市長夫妻ほか5名の訪問団が来宇し、観戦すると共に、レセプションにも出席し、多くの市民との交流を楽しんだ。

10　2010(平成22)年3月　宇都宮市国際交流協会主催の宇都宮市民訪問団の派遣

上記のような風潮の中で、市の姉妹都市交流事業を担当実施している宇都宮市国際交流協会として、久しく途絶えている交流を再開させようと、2010(22)年3月、市国際交流協会の自主事業として、通算4回目となる宇都宮市民訪問団(団長江連征子)を公募、派遣することとしたのでした。

ピエトラサンタ市長表敬の他、市内に建設された日本庭園を市長の案内で見学し、旅の後半は北イタリアのミラノ・フィレンツェ・シエナ・ローマの世界遺産を見学観光して帰国したのでした。

その時、マッシモマレーニ市長から、これからは、青少年を中心とした交流を進めるべきだとの発言があり、団員一同、大いに感激したひと幕がありました。

駅前広場にある安田侃作〈夢〉前での記念撮影

11　2019(平成31)年　宇都宮市国際交流協会主催の宇都宮市民訪問団(団長丸山秀彦)の派遣

2019(平成31)年5月、宇都宮市国際交流協会の自主事業として、フランスオルレアン市との姉妹都市提携30周年記念の再調印式及びジャンヌダルク祭への参加し、オルレアン市民の皆さんとの交流を深めました。 旅の後半は、フィレンツェ・ローマの世界遺産を訪問観光し、帰国いたしました。

この訪問団で、特筆したいのが、フィレンツェの観光を取りやめて、和久実行委員ほか団員の半数がピエトラサンタ市の新市長ジョバンネッティ氏を表敬訪問し今後の交流をあり方について協議すると言う快挙を成し遂げたことです。

帰国後、今後の交流事業について、ピエトラサンタ市と協議中であり、新しい青少年を中心とした交流事業をスタートさせたいと鋭意努力中です。

ジョバンネッティ市長から記念品を贈られる和久実行委員

ジョバンネッティ市長を囲んで訪問団メンバー(市役所ロビーにて)

その他の交流

1　1995(平成7)年8月3日　宇都宮ストーンコンファレンスの開催

宇都宮市の大谷資料館前の広場で、「石・宇都宮・未来」をテーマに石のまちづくりについて語り合う「宇都宮ストーンコンファレンス」が宇都宮市及び市内の商工関係者で構成された実行委員会(会長　鈴木将之・宇大教授)が主催して開催され、石の街づくりを考える業界や年齢などの枠を超えた多くの市民が集まり白熱した議論が行われました。メインのイベントとして、プリッカー賞を受賞した世界的な建築家　安藤忠雄氏　が、「これからの地方都市は、子供たちが夢を育める街を作らなくてはならない」と街づくりや人間づくりについて講演されました。

ニコライ市長も、参加した大谷地区の子供たちから記念の寄せ書きを手渡されるなど交流を深めていました。

2　イタリアを襲った集中豪雨による水害見舞金募金活動と義捐金の送付

ピエトラサンタ協会として、1996(平成8)年6月19日ヴェルシリア地方を襲った大雨により、市の中心を流れるヴェルシリア川が氾濫、泥流が市中心部まで流れ込み甚大な被害を蒙った同市に対し、宇都宮市長をはじめ市議会、市幹部により募金1，500万リラを義捐金として送付したのでした。

併せて大谷石材協同組合、曲師町商業組合、シンボルロード商業組合により集められた募金900万リラを災害復興資金としてピエトラサンタ市へ寄付贈呈したのでした。その後、12月には、復興活動に携わってきた関係者へ感謝の意を表し「連隊・再建・感謝の日」と銘打って記念式典を開催いたしました。

3　ピエトラサンタ・ルッカ及びトスカーナ展の開催

1996年8月26～29日、ショッピングプラザ福田屋イベント広場を会場に、宇都宮市とピエトラサンタ協会の主催により、「 ピエトラサンタ・ルッカ及びトスカーナ 」展を開催しました。

オープニング・セレモニーには、マンリコ・ニコライ市長をはじめとするピエトラサンタ市訪問団9名が来宇し、ピエトラサンタ市周辺のPR等に努め、両市の市民交流を深めました。

（1） 大理石の街、ピエトラサンタ市から、高品質な大理石製品の展示と即売。

（2） ピエトラサンタ市在住の大理石職人による大理石加工の実演。

（3） ピエトラサンタ市から来日したシェフによるイタリア料理の実演と伝統料理のミニレッスンの実施。

（4） 日本初公開のイタリアワインの販売

（5） トスカーナ地方の食材(パスタや焼き菓子類)の紹介と販売

（6） ピエトラサンタ市ほかルッカ県やトスカーナ地方の観光・文化・産業の紹介。

など、イベント広場を埋めた大規模な物産展で、連日大勢の市民の皆さんが訪れていました。

文化会館ロビーに飾られたラ・テンペスタ像 「嵐」

宇都宮市の姉妹文化友好都市シリーズⅤ
イタリア　ピエトラサンタ市

発行日　2020 年 7 月 7 日
発行者　NPO法人宇都宮市国際交流協会
宇都宮市姉妹文化友好都市パンフレット作成実行委員会
〒320-0026　宇都宮市馬場通り4-1-1
うつのみや表参道スクエア5階(宇都宮市国際交流プラザ内)
Tel　028-616-1870　　Fax　028-616-1871
Email ucia@ucia.or.jp　　http://www.ucia.or.jp/
印　刷　株式会社プリントパック
〒617-0003 京都府向日市森本町野田 3-1
TEL. 0120-652-125